

令和7年度第1回上牧町地域公共協議会 議事録（概要版）

【日時】令和8年2月19日（木）

【場所】上牧町役場 3階 委員会室

【出席者】別紙参照

【事務局】俵本課長、福本補佐、小松係長、吉中（記）

上田補佐（総務課）

1. 開会・町長挨拶
2. 委嘱状交付及び委員照会
3. 協議会設置規約（案）及び財務規定（案）の承認
 - 1) 内藤委員（奈良運輸支局）：設置規約第4条の構成員について、地域公共交通会議の必須構成員である「交通事業者の組織する団体」が抜けているため追記が必要。また、第4条第3項の「運転手」を法律上の呼称である「運転者」に修正すべき
→事務局：指摘事項を修正の上、後日改めて修正版を送付する。
4. 会長・副会長・監事の選任について
 - 1) 会長：委員の互選により、阪本町長を会長とする。
 - 2) 副会長：会長の指名により、辻本委員。
 - 3) 監事：会長の指名により、呉羽委員、植村委員。
5. 上牧町における地域公共交通の現状及び今後の進め方について
 - 1) 質疑応答
 - (1) 辻本副会長：新たな交通モードの検討としてデマンド交通やライドシェアが挙げられているが、デメリットも多いのではないか。また、学校統合に伴うスクールバスの利用や、病院の無料送迎バスとの連携・相乗りは検討できるか。
→事務局：現状の定時定路線では交通空白が生じているため、デマンド交通などによる面的なフォローも選択肢として考えている。ライドシェアは他市での事例もある。導入にあたってはメリット・デメリットを整理し、本協議会で検討したい。
→阪本会長：学校統合に伴う通学については、教育委員会の上牧町学校統合準備委員会（通学路部会）で「コミュニティバスは使用せず、2.5 km以上は自転車通学を認める」と決定している。
→内藤委員：病院や学校の送迎バスの活用（輸送資源の総動員）について

<裏面に続きます>

は、現在国でも法制度上の検討を進めているところである。

- (2) 葛城委員（タクシー協会）：資料にある「ライドシェア」について、海外の配車アプリ型と国の「公共ライドシェア」が混同されやすいため、次回以降、明確に説明してほしい。

→事務局：記載が安易であった。次回会議で各種交通モードのメリット・デメリットを含めた詳細な資料を提示し説明する。

- (3) 細川委員（奈良交通）路線バスもドライバー不足などの課題がある。路線バスやタクシーを含めた持続可能な交通モードとなるよう議論を進めて頂きたい。

- (4) 新関委員（ひまわりタクシー）：タクシー業界も深刻な人材不足で稼働率が悪い。買い物のための電話予約などの対応努力はしているが、バス・タクシー・公共交通全体で維持していくスタンスで検討をお願いしたい。

6. 令和8年度事業（案）について

1) 質疑応答

- (1) 内藤委員：プロポーザルによる業者選定について、協議会での承認までは不要であり、事務局に一任して事後報告で良いのではないか。

→事務局：事務局に一任頂き、業者選定まで進める。

- (2) 上村委員（町議会議員）：近隣市町村のデマンド交通事例を視察している。上牧町では具体的な路線などはまだ決まっていないのか。次回以降、町の実情に合ったパターンを複数提示してほしい。

→事務局：現状は決まっていない。次回、近隣事例やパターンを提示する。

- (3) 松田委員（高田土木事務所）：業者選定後、本協議会ほどの程度の頻度で開催する想定か。

→事務局：2か月に1回程度を想定している。参加しやすいようWEB参加も可能にする。

7. 令和7年度上牧町地域公共交通協議会予算（案）について

1) 質疑応答

- (1) 辻本副会長：令和8年度予算について、承認はどうするのか。

→事務局：令和8年度予算については、町の当初予算成立後の3月下旬ごろに書面決議にて承認をお願いしたいと考えている。

- (2) 松田委員：財務規定の会計年度開始が4月となっているが、予算策定や決算スケジュールの事務局運営上、年度の切り替え時期は検討した方が良いのではないか。

→事務局：他市町村の事例も踏まえて検討する。

8. その他

1) 辻本副会長：次回の開催時期はいつか。

→事務局：業者選定後の報告として、令和8年6月以降の開催を考えている。

以上